

育ちだより(令和7年12月号)



師走を迎え、一年の締めくくりの時期となりました。

「育ち」で過ごす子どもたちは、友だちや職員との関わりの中で、驚くほど豊かな表情や姿を見せてくれました。できることが増えた姿だけでなく、挑戦しようとする気持ち、誰かを思いやる気持ちなど、たくさんの“成長の芽”が見られ、私たち職員もたくさんの感動と喜びをもらえた一年でした。

この一年で、お子さんがどんな場面で力を発揮したのか、お子さんの「今年できるようになったこと」と一緒に振り返り、がんばりをたっぷり褒めてあげてくださいね。小さな成功体験の積み重ねが、これから大きな成長につながっていくと思います。

本年も「育ち」の療育への温かいご理解とご協力をありがとうございました。

12月28日～1月4日は休所となります。どうぞ、穏やかな新年をお迎えください。



講話レポート:

「感情に寄り添う～〈好き〉（信頼関係）は最強！～」

- ・日 時:令和7年11月29日（土）
- ・場 所:谷山サザンホール
- ・講 師:特別支援教育コーディネーターの先生
(育ちスーパーバイザー)
- ・対 象:「育ち」の保護者
- ・講話内容:「何を言われたかよりも、誰に言わ
れたか」という言葉のとおり、子どもの
成長には“正しい指導”だけでなく、
『大人との信頼関係（=好きの気持
ち）』が大きく影響します。

○事例として、友達とのトラブルで強く怒りが

出る子、かまってほしくて行きすぎてしまう子、集団が苦手だったけれど関わりの中で「大好き」
という言葉を覚えた子などが紹介され、どの行動にもその子なりの理由があることを教えてい
ただきました。

○「感覚の過敏さ」や「見えている世界の違い」、「言葉と感情の扱い方」についても具体的に説
明があり、子どもへの理解が深まりました。

○先生は、「裁判官ではなく探偵に。善悪で判断せず“なぜ”を探ると寄り添いややすくなる」と話さ
れました。

今回の講話では、改めて、子どもの成長は、正論よりも「寄り添ってくれる大人」との関係が育て
るというメッセージを強く感じました。子育てをしていると、「これで良いのかな?」、「どう関わればい
いんだろう?」と迷うことが多いのですが、先生は、“完璧でなくて大丈夫。寄り添おうとする姿勢こそが
子どもに伝わる”と、優しく背中を押してくださいました。

子どもにとっての“好きな大人”でいることが、成長の大きな力になることを感じる研修会となりま
した。今後も、保護者の皆さんとともに、お子さんの「好き」と「安心」を育んでいきたいと思います。



◎参加者の声～心に響いた学び～

今回の講話を受け、「子どもの“時間の流れ”は大人とは違うんだ…」と気づき、声掛けを見直
したいという声が多く寄せられました。

いつも言っている「早く!」の一言を、「いそいでね」と柔らかく伝えようとしてきたけれど、本当に
寄り添うには“心の余裕”が必要だと改めて感じたという保護者もいました。

また、同じことを繰り返し伝えてくる子への向き合い方について、「まずは私自身が落ち着いて
寄り添ってみようと思った」「子どもが納得するまで付き合ってみたい」といった、明日からの行動
につながる前向きな感想も寄せられました。

講話全体については、「わかりやすくて心に届いた」「ワークで体験して理解が深まった」「知っ
ていたつもりのことも整理できた」と満足の声が多く聞かれました。さらに、「感情を大事にしてい
いんだと思えた」「子どもにも今日の話をしてみたい」という温かい言葉もあり、胸がじんとする場
面も。忙しい毎の中でも、子どもに寄り添う気持ちを取り戻せた。そんな、優しい気づきが詰ま
った講話となつたようです。

・座談会：保護者向け講話のあとに、先生の進行で座談会（保護者のみなさんとゆっくりお話しする時間）を行いました。

子どもたちの「ちょっと困ったこと」や「うれしかった成長」、「家庭での思わずクスッとするエピソード」など、あたたかい話題がたくさん出ました。

○家で見せる姿は“安心のしるし”
○成長はゆっくり波のように
○気になる行動もサインのひとつ
○就学への心配ごとも共有など
全体を通して、“うちの子だけじゃないんだ”、“みんなで見守っていけるんだ”そんな気持ちになれる、あたたかな座談会となりました。



参加者の声～あたたかな座談会～

今回の座談会では、日頃の小さな悩みや心配ごと、そして“うれしい成長”をゆっくり語り合うことができました。「他のご家庭のお話を聞いて、共感することがたくさんあった」「うちだけじゃないと分かって、ほっとした」という温かい声が寄せられました。先生のお話も分かりやすく、「気持ちが軽くなった」「明日からの関わりに生かしたい」という前向きな感想も。同じ立場の保護者の方の経験や、お子さんたちのエピソードを聞いて、「自分の子の育ちもゆっくり見守っていこうと思えた」という声も届いています。

普段なかなか聞けない“ほかのおうちの子育てのリアル”に触れ、「とても貴重な時間だった」「これから環境づくりに役立てたい」という言葉もいただきました。

お互いの話にうなずき合いながら、“みんなで子どもたちの育ちを支えているんだなあ”と感じられる、あたたかな座談会となりました。

各事業所より

第1事業所

①今月の行事

12月17日 避難訓練（地震）

②第1事業所では…

12月は、ビッグイベントのクリスマス！クリスマス製作に取り組みました。「サンタさんに何をお願いしようかな？」と、嬉しそうに話す子どもたちの姿を見ながら、素敵なおもちゃになればいいなと思っています。

寒さが厳しくなりますが、体調に気をつけ、楽しい年末年始をお過ごしください。今年も一年ありがとうございました。2026年もどうぞ、よろしくお願ひいたします。

第3事業所

①今月の行事

12月17日 避難訓練（地震）

②第3事業所では…

12月に入り、鹿児島にも本格的な冬がやってきました。感染症が心配な時期ではあります。子どもたちは元気に活動を楽しんでいます。「サンタさんに何をお願いしようかな？」と迷う姿に、私たちも思わずほっこりします。



第2事業所

①今月の行事

12月15日 避難訓練（地震）

②第2事業所では…

12月を迎え、クリスマスやお正月など楽しみが増える中で、子どもたちの中には進級・進学への期待も膨らんでいるようです。年長さんからは「どんな小学校だったの？」と職員に質問する姿も見られ、思い出話や小学生の楽しさと一緒に共有する機会が増えてきました。今年も残りわずかとなりましたが、子どもたちと一日一日を大切に、思いきり楽しんでいきたいと思います。

保護者の皆様には、日頃よりご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。来年もどうぞよろしくお願ひいたします。



△ 冬休みは短い期間ですが、放デイでは支援時間が長くなります。子どもたちのペースを大切にしながら、通常の活動に加えて宿題を取り組む時間も確保していきます。

年末年始には、こま回し・福笑い・かるたなど、ご家庭で楽しめる昔ながらの遊びもおすすめです。

今年一年、温かいご理解とご協力をいただきありがとうございました。来年も安心して過ごせる場となるよう努めてまいります。どうぞ良いお年をお迎えください。

